時事新報

商賣上の德義

文明社會の商賣を發達せしめんとならば必ず文明社會の教育を受けたる士流學者に依頼せざるべからずとは余輩の宿論にして幾回か讀者の聽を煩はしたるみとあり近來は我邦の商業も漸く面目を改め殊に外國貿易の如きは日進月歩、次第に繁昌の域に入りて前途の望少なからざる此時勢に際し、翻つて内國の商賣社會を觀れば數百年來の習慣依然として舊を改めず事業は時勢に推進せられて盛大に赴き之に當る者は舊習慣の奴隷と爲りて自から新にするを得ず事と人と相互に齟齬して往々大事を誤るは正に今日の通弊なるが如し蓋し今の所謂素町人店者の輩をして文明の實業に當らしむるは弓矢槍劍の田舍武士を驅て軍艦銃砲の戰場に赴かしむるに異ならず町人利を知らざるに非ず其利を重んずるは武士の武を尚ぶが如くなれども如何せん規模小にして紀律立たず以て大事に當り難し就中商賣上の德義心に乏しきは我輩の最も遺憾とする所にして今うの次第を語らんに凡そ商賣上に物品の受渡、金錢の拂方等を約して其期限を違へざるが如き又は一片の見本を示して千百の賣物に品質を僞らざるが如き商賣社會に重んずる所の一義なれども是等は本來人間普通の德義にして必ずしも商賣上のみに限るに非ざれば此一義を以て能事終るとは云ふ可らず然らば則ち特に商賣上の德義とは如何なるものぞと尋るに商界の常として利害を共にする者の間には一種の申合密約なるものありて之を守らざる可らず商戰の成敗は單に此密約を守ると守らざるとの間に存するの事例あろ多ければ之を守るみといよ〳〵固き者を稱して商德の高き者とは名くるなり例へば技に二名の商人が共に經營して竊に其向ふ所を區畫し君は東に我は西、以て互に相侵すなからんと約束するみとあり又は一時の恐慌の爲めに或る商品の暴落を致し當業の商人申合せて暫時その賣出しを中止し以て價の回復期を待たんと約束するみとあり斯る場合に於て其結約中の一人が竊に抜駈けの不義を行ふときは、一身に利するみと固より大なりと雖も所謂商德の許さゞる所なり或は相場所の賣買にて賣を共にし買を共にする者が竊に同謀の裏をかいて方向を轉ずるが如きも不德の大なる者なり又或は會社の株主が社務を云々せんとして株主中に意見を異にし双方各々同意の者を求めて内約を結び株主集會の席には甲説を贊成せん乙論に從はんと恰も同盟したる者がいよ〳〵會場に臨んで前説を翻へし同盟者を賣て私に利するが如き卑劣の甚だしきものにして商賣社會の害毒と云ふ可きのみ左れば商賣社會特殊の德義は申合の秘密を守りて同盟全體の利害を謀るに在り商人たる者が此德義を全ふしてゆく始めて其社會の繁盛をも期す可けれ之を小にして内に論すれば當業者個々の利益、されを大にして對外の眼より見れば一國商權の根本たるを知る可し人或は密約同盟等の文字を見て陰險の沙汰なり君子の爲ざる所なりなど云ふ者もあらんかなれども元來みの密約なるものは實に商賣上のみならず堂々たる國交際の上に行はれて政治家の特に重んずる所のものなり試に目下歐洲の政海を見れば佛國は密に墨國と相結び獨逸は墨國と相契り以て列國の權衡を維持して相互に國權を張るが如き取りも直さず政治上の密約に依るものなり若しも不幸にして其同盟中の一國が違約の不德を犯して反覆するみともあらんには全歐の平和は忽ち破れて今日の内にも千軍萬馬の蹶起するを見る可し左れば政治上の密約は現今文明の各國をして平和保安を得せしむるの具にして其性質陰險に似て其成績は則ち美なり所謂不德の大德なるものにして政治社會に曾て非難の聲を聞かずとあれば獨り商賣上の密約を咎るの理由なきのみか商人の氣品高く商業の紀律整然として始めて能く行はる可きみとなれば我輩が常に古風の町人店者を擯けて近時の教育を經たる新商人を渇望するも亦已むを得ざる所以なり

雜報

○土木會開會の期日　土木會の第一回開會の期日は愈よ來月四日と確定し内務大臣よりの照會ありしかは久米同會幹事は曾我會長の指揮を受け一昨日其旨各委員に通知したりと云ふ

○英佛日三國軍艦定員比較　日本軍艦の定員を以て英佛諸國のものに比し其數割合に多きは畢竟彼我體力の上に强弱の相違あるが爲めにして即ち下士卒の如き專ら勞力に從事するものに在りては勢彼より多くせざるを得ずと雖も準士官以上の稍や精神上の勤務に從事するものに在りては必ずしも多きを要せず寧ろ彼と同樣にして可なり然るに其準士下官以上の定員を見るに下士卒の定員彼れより多き割合よりも多くして殆ど一倍に垂たり右は頗る不釣合の事なれば宜しく此定員を改正し以て冗員を淘汰すべしとの次第は嘗て本紙に記載せしが尙英佛兩國の軍艦と帝國の軍艦とに就き其事實を證明すれば大略左表の如し但し其比較の用に供したる三國の軍艦は勢力及び噸數等精密に同じときを得ずと雖も之に依りて以て其一斑を知るべく又その備附けたる砲數の多きものは總じて其割合に多くの兵員を要するものと知るべし

國別	艦名	噸數	準士官以上	下士卒	合計
佛英帝國	駿河	一一〇〇	四〇	二七八	二三八
佛英帝國	アーント	一一〇〇	三三	二四三	二七〇
佛英帝國	ヤー	一一〇〇	三四	二九九	二三三
佛英帝國	鄧	八三〇	三七	三三五	四〇七
佛英帝國	高千穂	三七〇九	三七	四五八	四五八
佛英帝國	メアーキュレー	三三〇	三六一	二八一	二九九
佛英帝國	ウエクトリユース	一三〇	三六九	二八一	二九九
佛英帝國	フランス	一一〇九	三六九	二八一	二九九
佛英帝國	ベーント	一一〇〇	三六九	二八一	二九九
佛英帝國	ヤンキー	一一〇〇	三六九	二八一	二九九
佛英帝國	ゴルドン	一一〇〇	三六九	二八一	二九九
佛英帝國	剛毅	一一〇〇	三六九	二八一	二九九
佛英帝國	海門	一一〇〇	三六九	二八一	二九九
佛英帝國	ヤレンチ	一一〇〇	三六九	二八一	二九九
佛英帝國	ベーント	一一〇〇	三六九	二八一	二九九
佛英帝國	八八〇七	一一〇〇	三六九	二八一	二九九

○一昨日の東京市會（常設委員否決）　は午後四時三十分より開會し第二讀會まで委員派が連戰連勝の勢ひにて通過し來りたる水改第五十號（水道改良常設委員設置の件）議案の第三讀會を開きたり當日も楠本氏尙は議席にあり議員及各傍聽者も最後の決戰如何あらんかと肩唾を呑んで待つ間程なく議長か開會を報道するや大貫實氏が委員派の先鋒として口を開き調査委員の參考として報告せし理由書大意は取消すべしと述べて贊成あり次に非委員派の中堂又五郎氏起て本案は委員を無報酬とせしものなれば雖形同樣のものとなり無論廢案する外、策なしと廢案說を唱え續て角田眞平氏は大貫氏の動議に反對し小川三千三氏は天地に恥ぢざる參事會員は本案に贊成し常設委員を設くべしと大喝す之に應して肥塚龍氏は理由書を撤回し本案を可決せんとするは耳を蔽ふて鈴を盜に均しからん既に諸新聞紙が報道に依り議場の模樣は百萬の市民が耳底に印したれば今更取消すも其効なしと反駁し黑田綱彦氏は今に至り理由書の蒐集なりと云ひしが遂に大貫氏の動議は十七名の贊成即ち少數にて消滅したり時に末吉忠晴氏は毎日〳〵箇樣に際限なく討論せば遂に松田、楠本の二氏が對決せざるに於ては止まざるべし最早楠本氏は何とか覺悟せよと大呼して理由書撤回を促し石垣元七氏同説を贊成す茲に於て同志打始りしと密語するものあり委員派の敗北既に顯れたり山中隣之助氏は委員說は將に死なんとする命の瀕戸（小川氏ノー〳〵と大に叫ぶ）に瀕せしを以て一言すべしと起立し七萬圓餘の僅か砂利買上げにても監査委員が調査すれば一萬七千圓餘の利益を見出に非ずや當市にて使ふ金錢は百三十萬の市民が懷より出すものなれば役所風の買上げは御免を蒙るなりとて常設委員を設くれば其利益少々に非ざる例證を擧げ語勢鋭く反對論を辨難し末吉氏は再び楠本氏に撤回を促し剛情を張ら可ず覺悟々々と呼ぶ檜山鐵三郎氏は若しも市參事會員なる議員諸氏が理由書撤回に贊成を表せざれば角田氏の政略に乘せられたるものなりと絶叫したり續て高尾、星、松田、中村の諸氏の說出でしも採決々々の聲討論終結の聲四方より起り議場は喧騷を極む議長は然らば討論終結に付採決すべしと宣告し採決せしに起立二十三名の少數にて否決したり肥塚氏は嶂の脫殼の如き本案は廢棄すべしと陳べしが楠本正隆氏は遂に堪へざりけん理由書にある如く水道工事の遲滯せしには相違なきも同理由書のため大切なる本案の通過に妨げありとせば理由書を撤回すべし左れど議場は之を許すや否を發言し白石剛氏は撤回して差支なかるべしと云ふやノー〳〵の聲大に起る又伊澤氏は番外より本案を撤回すべしと要求し滿場騷然たりしが議長は休憩を報ず同六時三十分再び開會せしに佐久間氏は末吉氏の大喝一聲に脆くも前說を翻し何故に楠本氏は理由書撤回を申出しやと楠本氏を攻擊し伴氏は前非を悔て撤回するなら百尺竿頭一歩を進めて本案を撤回すべしと論じ黑田氏は曰く本員は當初より委員說には反對は反對なれば何も此樣に爭論するに及ばずとの考へなり然るに斯の如く大反對あるは何か深き原因のあるあり先頃風說あり市會議員中或る一派が組織せし何會とかありて同會にて取極め後ちに出したるものは例も議案となり議場に現はるゝ抔との說流布し本員等も亦耳にせり是は素より齊東野人の言ならんなれど幾分か此風說が各議員の感情を害したるに起因するならん何しろ重大なる責任を負ふべき常設委員を無報酬にて働かすと云ふ事なし本案を通過せしひるは後に病を殘すに齊しと大に委員說を非難し理由書に瘕かあるから撤回するならんと極言せしかば小川氏は怒の聲劇しく黑田氏を叱咤し滿場益々騷擾し私語嘲笑の聲場内に充ち名狀すべからざるに至る伊澤氏は躍然番外に府知事の出頭し居るや否を問ひ且つ本案撤回を番外に促す番外は否な撤回する必要なしと答辨せしにヤヤ〳〵と云ふものあり又は車を打て叫ふものあり桐原捨三氏は本案の二讀會迄通過せしは理由書のために非ず理由書を撤回するも何か差支なし黑田氏の何會とかの說取るに足らず合せものは放れものなりと云ふや拍手の音盛んにして滿場破るゝ計の騷ぎなりし肥塚氏は駈逐のうちに起立し楠本氏の擧動は小供の如し自身より取消すは如何なる事ぞと大喝し近頃奇怪千萬なり楠本氏が昨夜迄、自說を固く執て動かざりしは三軍の帥を奪ふも匹夫の心奪ふべからざるは此事なりと實は感服し居たるに今に至り取消すとは自から間違なりとて謝すると同樣なり噫楠本氏が十年の苦心水泡に歸せりと激しく論難す楠本氏は否な本員は今日調査委員會を開きしに同會の多數決議にて撤回を可とせしを以て同決議に服從せざるを得ざるに付之に從ひしのみ敢て自說を變じたるに非ずと肥塚氏を說破したり時に討論終結の動議出でしを以て楠本氏の撤回說を採決せしに龜田席員（議長を算入し五十名可とするもの二十四名即ち一名の少數にて否決し次に本案を以て確定すべしと爲すものに起立を命ぜしに二十名即ち九名の少數にて遂に原案消滅すと議長の報告あるや非委員說派は一同に拍手し散會せしは同七時四十分頃なりし

○商業萬國博覽會の企　本月二日　桑港　知事イラート氏は前知事ポンド氏始め同港屈指の商業家を其官邸に會し來る十二月ゴルデンゲート公園に商業萬國博覽會を開設するみとに付評議を開きしが見角疑懼の說多きを占め纏まる可き模樣は次週を期し同問題を再議に會したりと

○東京製氷會社の臨時より築地の同會社に於て　議の末左の通り決議せり

一名稱を東京製氷株式會社と爲す事
一營業期限明治二十二年迄とす事
一資本金四十萬圓拂込十萬圓を以て十五ヶ年とす事
一現在拂込額十萬圓の内四萬圓を以て株券數八千を四千に切り拂込額と爲し殘り五千を追て新株券を調製する事
一株券書換手數料五錢を取締三名監査役二名を一名譽職とし株主總代一元の定款に法り商法に事
倘ほ定款は從來のものに法等を修正したる迄にて九時

○各地農況彙報

●千葉縣　香取郡本新嶋地るため目下挿秧を中止して既に八分通り植付けて麥は よりは二分以上の增收穫あ

●新潟縣　刈羽郡小國鄉は 養蠶は思はしからざれど 六七日頃田植始めなりしと

●佐渡國　の麥作は概して 有樣なれど田植は平年より 左程の障りなし然し去月七 苗の生長を妨害したるよし

●大分縣　の麥作は播種以 を妨げられ生育上甚だ面白 收穫如何あらんと心配し居 を改め頗る好況を呈せりと

●鳥取縣　の麥作は播種の は前年より二割餘りを減じ ます〳〵不作の模樣にて本 なりと云ふ

●嶋根縣　嶋根郡西川津村 も年は過ぎ終り作柄も先宜

○黃白世界

其五十四　一手に

ヴァラ

西暦一千八百七十九年より で五年の間、空手より起て 米利加の黃白世界に於て、 したりしものをヘンリー ヴ 初代バンダルビルトと似て、 今や此人の事蹟を記す 行の穿鑿は止めにして、 說き分くべし、扨もヘンリ 獨逸に洋行し、西暦一千八 歸り來たるや、水因河畔の び出したるが如く、直に落 に赴き、當時同州に二箇の